

パイルストーン

改良圧着張り

1. 下地の清掃

モルタル下地面は、木ゴテ押さえとし下地精度が2mあたり±2mm以下の誤差に仕上げてください。ゴミ、ほこりなどを除去し、清掃して整った下地面にしてください。その後、下地を十分に養生させ下地吸水調整剤を均一に塗布してください。

2. 割付け

商品の特質上、寸法にバラつきがありますので、商品を確認し割付け、商品寸法の小さなバラつきは目地幅で調整してください。また、サイズが合わない場合には、裏面にダイヤモンドカッターなどで1/3程度切り込みを入れて、裏面から叩いて割るようにしてください。

3. 張付けモルタル練り混ぜ

1回の練り量は、所定の時間内に使い切る量を目安として、張付けモルタルに所定量の水を徐々に加えながら、ハンドミキサーなどで十分に練り混ぜてください。

※張付けモルタルの練り足しおよび、水を加えての練り直しは行わないでください。

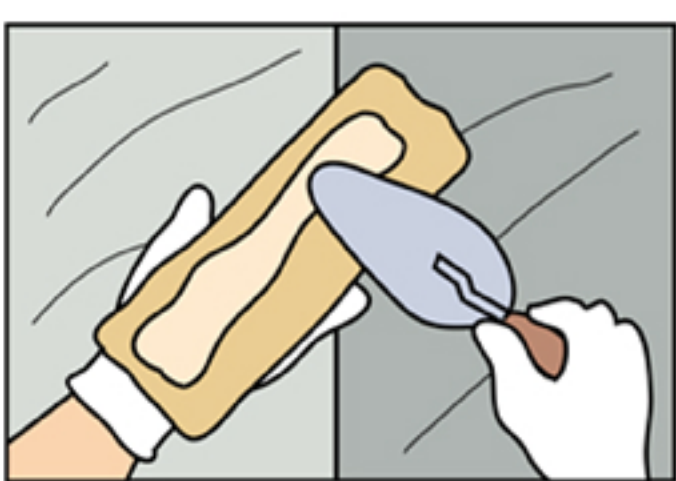
4. 張付けモルタルの下地への塗布

張付けモルタルをモルタル下地面へ1~2mm厚にコテ圧をかけてしごき塗りし、追っかけて約2mm厚で塗り付けをしてください。

※張付けモルタルの乾き過ぎを防ぐため、張り付け前に1㎡以上は塗り広げないでください。

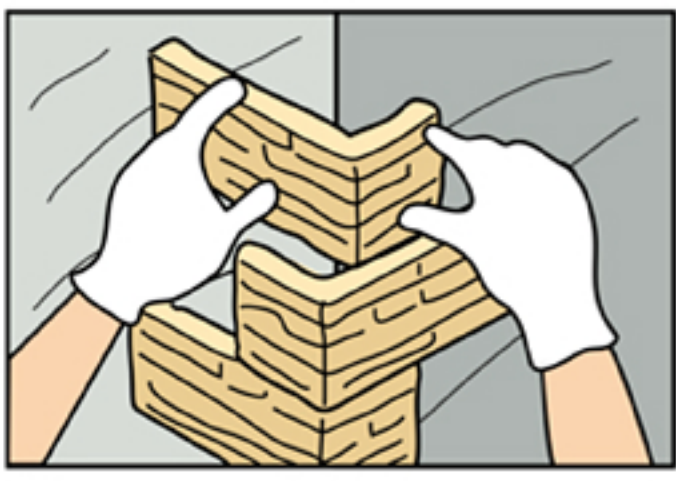
5. 張付けモルタルの張材への塗布

商品裏面の清掃を行い、吸水の激しい場合には吸水調整のため、下地吸水調整剤で処理してください。その後、商品裏面に張付けモルタルを4~6mm塗り付けてください。



6. 張付け(改良圧着張り工法)

十分な圧力を加えて、張付けモルタルにもみ込むように改良圧着張り工法で施工してください。コーナー部分がある場合はコーナーから張り付け、下段から上段へと施工してください。コーナー形状があるものは長い面と短い面がありますので、これらが交互になるように施工してください。※酸洗いは変色の原因となりますので絶対に行わないでください。



化粧目地材とモルタルパックなどを使用して、隙間の無いように目地詰めを行ってください。作業中に商品の表面に付着したモルタルは、乾燥後にブラシなどで除去してください。

7. 吸水防止処理

屋外に使用した場合は、張付けモルタルの硬化のため雨や水などがかからないよう養生を行ってください。1週間以上養生させた後、吸水防止剤を塗布してください。

天然石張材用ポリマーセメント系モルタル

ストーンボンド

〈製造元:二瀬窯業(株)〉

- 粉末樹脂を混入したプレミックスタイプなので、水で混練りするだけで使用できます。
- 粘着性に優れているため、石材、大型タイルなどの重量物の張り付けでも施工性の良いモルタルです。
- 耐久性に優れ、長期間安定した接着力を発揮します。

color variation



白色(No.1)



灰色(No.2)



標準仕様

商品名	適用下地	適用仕上材	混水量	塗厚	1袋当りの使用面積
ストーンボンド 20kg/袋	コンクリート モルタルなど	パイルストーン	約3.4ℓ /袋	5mm	約2.5㎡/袋

施工手順

1. 下地

モルタル下地は木ゴテ押さえ仕上げとしてください(精度±2mm/2メートル、養生2週間以上)。

2. 下地の清掃

下地の脆弱層、レイトンス、塵埃などは接着効果を弱めますので入念に除去し、水洗いを行うなどの下地処理をして健全な下地状態としてください。

3. 下地処理

下地清掃を行った後、下地処理剤(プライマー)を所定の割合で希釈し均一に塗布してください。

4. 練り混ぜ

1回の練り量は、30分以内に使い切る量とし、所定量の水を徐々に加えながらハンドミキサーなどで十分練り混ぜてください。

5. 張り付け(改良圧着張り)

- ①ストーンボンドを下地面へ塗り付けます(塗厚約5mm)。
- ②石材やタイルの裏面にストーンボンドを塗り付けてから、十分な圧力を加えて張り付けてください。張り付け後、できるだけ早く目地修正を行ってください。

！ 注意点

●使用について

- ・石材、大型タイルの裏面の清掃を十分に行ってください。
- ・砂岩への使用はご遠慮ください。
- ・重量物を2階以上の部位に張り付ける場合は、必ずステンレス線などで躯体に1枚ずつ緊結するようにしてください。
- ・プレミックスタイプのため、指定材料以外の材料との混合は避けてください。
- ・強い直射日光、降雨、降雪などを受ける恐れがある場合は、シートを張り、養生してください。
- ・商品に使用する水は、水道水などの清水を使用してください。
- ・気温が3℃以下になる場合は、施工を避けてください。
- ・使用後の器具は水で洗浄してください。
- ・製造年月日より、3ヶ月以内を目安に使用してください。

●保管について

- ・開封後の材料は使い切ってください。
- ・商品の保管、在庫はセメント同様の取扱いとし、床面より離して湿気の少ない場所に保管してください。